

第5章 保健事業の検討と評価指標

1. 保健事業の具体的内容と評価

分野別課題に基づく重点的な取り組み							
中・長期目標達成のための条件	事業・取り組みの目的	短期目標	評価指標（2016(H28)年度実績値及び2020・2023年度時点の目標値）		対象	評価方法	
			アウトプット（事業実施状況・量）	アウトカム（成果）			
市民が特定健診及びがん検診の必要性を理解し、継続的に健診を受診することができる	がん検診者対策 未受診者対策	未受診者ががん検診の必要性を理解し、定期的に受診するようになることで、早期発見・早期治療に繋げる。	・がん検診受診率の向上	・ハガキ送付等による受診勧奨 ・事業所への受診勧奨 ・受診者の利便性向上（受付方法・体制の工夫等）	・がん検診受診率 胃がん 2016(H28)：14.7% 2020：20% 2023：30% 肺がん 2016(H28)：24.1% 2020：32% 2023：40% 大腸がん 2016(H28)：19.6% 2020：30% 2023：40% 子宮がん 2016(H28)：22.6% 2020：30% 2023：40% 乳がん 2016(H28)：20.0% 2020：27% 2023：35%	[胃・肺・大腸・乳がん] ・40歳以上の市民 [子宮がん] ・20歳以上の市民	・検診受診率 [アウトカム]
	特定健康診査 未受診者対策	健診受診により自分の身体の状態を把握し、必要に応じて早期受診や生活習慣改善等を行うために、未受診者に対して「まずは健診を受診すること」を働きかける。	・特定健康診査受診率の向上	・ハガキ送付等による受診勧奨 ・健診PRチラシの配布	・特定健康診査受診率 2016(H28)：31.2% 2020：45% 2023：60% ・勧奨対象者の1割以上が受診 2016(H28)：13.0%	・40～74歳の被保険者	・健診受診率 [アウトカム] -法定報告値
健診受診者が生活習慣病のリスクを早期に発見し、重症化予防のための生活習慣改善や適切な治療に取り組むことができる	糖尿病性腎症重症化予防対策 (二〇一七(平成二十九年)度)	糖尿病予防の重要性、医療費の現状等について市民に啓発する。また、関係機関と連携し、効果的に市民の疾病管理をサポートすることで、糖尿病予防と重症化防止を図る。	・糖代謝項目における精密検査受診率の向上 ・適切に血糖コントロールできる者の増	・電話等による精密検査受診勧奨 ・保健指導	・精密検査受診率の増加状況 ・対象者の検査値の改善状況 (血糖・HbA1c・e-GFR)	・特定健康診査を受診した被保険者のうち、糖尿病性腎症の判定基準で重症化リスクが高い者	・精密検査受診状況 [アウトカム] ・検査・健診結果状況 [アウトカム]
	健診異常値放置、治療中断など 受診勧奨対策	生活習慣病の重症化予防のため、対象者へ個別にアプローチし、適切な受診を勧奨する。	・健診異常値を放置している者や治療を中断している者の医療機関受診率の向上	・電話や文書等による受診勧奨	・勧奨による医療機関受診率の増加状況 2016(H28)：54.1%	・特定健康診査を受診した被保険者のうち、電話勧奨基準値に該当する者 ・収縮期血圧180mmHg以上 ・LDLコレステロール180mg/dl ・中性脂肪300mg/dl ・空腹時血糖150mg/dl ・eGFR30以下	・医療機関受診状況 [アウトカム]
市民が自分の健康に関心を持ち、生活習慣病についての正しい理解と予防法を知ることができる	特定保健指導	生活習慣病の予防及び重症化防止のため、対象者が自身の身体状態を正しく理解し、生活習慣改善に取り組むことができるよう、保健師・栄養士が個別に支援する。	・特定保健指導を受けて生活習慣の改善に取り組み、検査データが改善する者の増	・面談や電話等による個別支援 ・健康教育での集団支援	・特定保健指導実施率 2016(H28)：49.0% 2020：60% 2023：60% ・前年度特定保健指導利用者の検査値の改善状況 (BMI<30：腹囲1.0cm以上かつ体重1.0kg以上減少している者、BMI≥30：腹囲2.0cm以上かつ体重2.0kg以上減少している者)	・特定健康診査を受診した被保険者のうち、特定保健指導対象基準に該当する者	・特定保健指導実施状況 [アウトカム] -法定報告値 ・検査・健診結果状況 [アウトカム]
	健康教育・啓発	市民が健康づくりに関心を持ち、生活習慣病とその予防策について知ること、生活習慣病の発症及び重症化を防ぐ。	[健康教育・講演会] ・健康教育・講演会等の開催を継続・参加者数の維持 2016(H28)：75回 (1,866人) ・生活習慣病についての正しい知識を得る機会の確保 ・1日に1時間以上の運動習慣がある被保険者の割合の増 2016(H28)：3回 (334人) ・健康に関する情報発信回数の増 ・健康づくり事業に関するポイントカードの延べ利用者数の増 2016(H28)：6回 (308人) [禁煙支援] ・健康相談の実施者数 2016(H28)：2,529件 ・健康に関する情報発信回数 2016(H28) (広報紙)：17回 2016(H28) (パネル展)：1回 2016(H28) (ラジオ)：1回 2016(H28) (Facebook)：34回 [歯科対策] ・歯科健診の受診者割合の増 ・歯の健康イベントに参加する者の増 [歯科対策] ・歯の健康イベントの開催数・参加者数 2016(H28)：2回 (79人) ・広報、ホームページ、宅配講座等での周知 ・歯科医師会との連携体制の構築	[健康教育・講演会] ・運動習慣のある被保険者の割合 2016(H28)：42.1% 2020：50% 2023：60% ・ポイントカードの延べ利用者数 (健康づくり事業) 2016(H28)：2,028人 2020：2,230人 2023：2,430人 [禁煙支援] ・喫煙習慣者の割合 2016(H28)：男性 25.8% 女性 8.7% 2020：男性 18%以下 女性 5.5%以下 2023：男性 11.4%以下 女性 3.0%以下 [歯科対策] ・過去1年間の歯科健診受診者割合の増加状況 2016(H28)：51.4%	[健康教育・講演会] ・全市民 (運動教室については、特定健康診査を受診した被保険者) 2016(H28)：2,028人 2020：2,230人 2023：2,430人 [禁煙支援] ・特定健康診査受診者のうち喫煙習慣のある被保険者 ・母子手帳交付者 ・マタニティ教室参加者 ・乳幼児健診対象者の保護者 [歯科対策] ・全市民	[健康教育・講演会] ・イベント開催・参加状況 [アウトプット] ・健康相談実施状況 [アウトプット] ・参加者アンケート [アウトカム] ・運動施設利用状況 [アウトプット] ・特定健康診査問診結果 [アウトカム] -KDBシステム [禁煙支援] ・特定健康診査問診結果 [アウトカム] -KDBシステム [歯科対策] ・歯科イベント開催・参加状況 [アウトプット] ・宅配講座アンケート [アウトカム]	
地域が一体となって、市民の主体的な健康づくりを促すための環境を整えることができる	体制整備	生活習慣病、食生活・栄養、身体活動・運動、休養・こころの健康、飲酒、喫煙、歯・口腔の各分野に関して、企業・団体とともに市民の健康づくりを支援する。	・市、医療機関、関係団体・企業が連携し、市民の健康づくりに関する情報を共有・発信する機会の増	・健康づくりサポーター事業の推進・活動支援 ・広報、ホームページ、宅配講座等での周知	・健康づくりサポーター事業の認知度の上昇状況 2016(H28)：32.7% ・イベント参加者数の増加状況 2016(H28)：104人	・全市民	・宅配講座アンケート [アウトカム] ・イベント開催状況 [アウトプット] ・イベント参加状況 [アウトカム]